

自治体SDGsモデル事業

# 飯豊町SDGsまちづくり機構がつなぐ 農山村の新たな価値創出事業



山形県飯豊町





## 町の概要

飯豊町(いいでまち)は、山形県の南西部に位置し、総面積のうち、8割以上が緑豊かな山林が占める。

山形県の母なる川である最上川の源流、置賜白川が町内を南北に貫流し、その清流沿いに稲作地帯が広がる自然溢れる町である。

白川流域の肥沃な扇状地には、豊かな稲作地帯が形成され、屋敷林と家屋が点在し、水田と見事に調和した美しい田園散居集落景観が広がる景観が特徴である。

ブランド牛として名高い米沢牛の生産量の約4割を占める主生産地でもある。

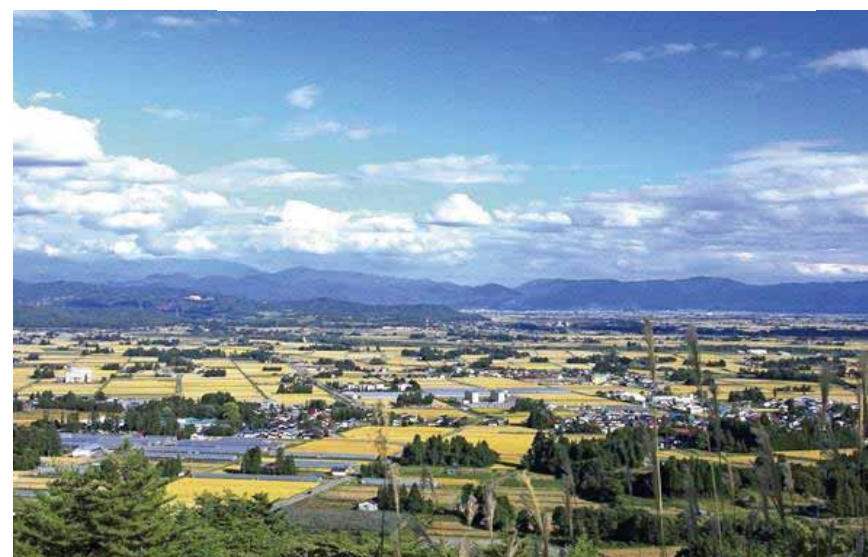
人口：7,304人

世帯数：2,198世帯

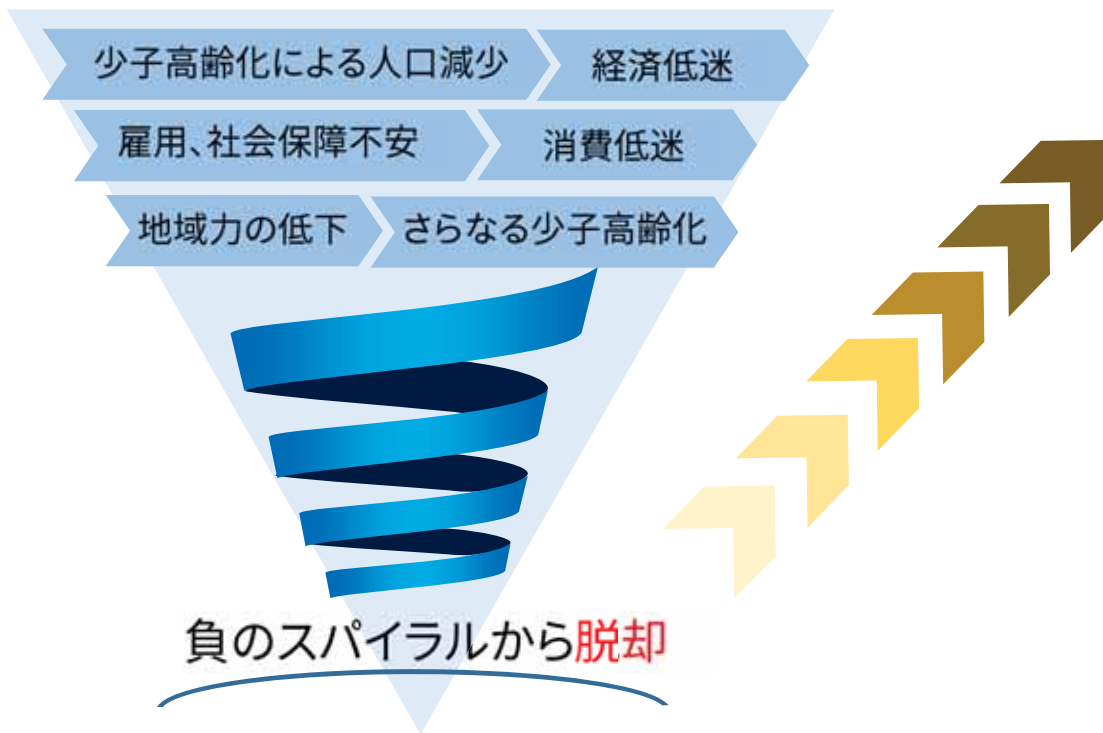
面積：329.41km<sup>2</sup> (人口密度22.2人/km<sup>2</sup>)

高齢化率：34.7%

(※数値は平成27年国勢調査値)



## SDGsモデル事業で 目指す町の未来像



SDGsモデル事業を実施し、  
農山村における自治体再生  
モデルの構築を目指す

SDGs未来都市で目指す町の姿

- ① 多様な主体による新たな「手づくりのまちいいで」の推進
- ② 地域資源を活用した持続可能な地域づくり
- ③ 農山村地域での新たな価値の創出、提案および実践

### SDGsモデル事業の3本の柱

再生可能エネルギーの戦略的展開

農山村の価値の継承

人材育成、パートナーシップ構築



# モデル事業の概要



## 再生可能エネルギーの戦略的展開

町内に豊富に存在する木質バイオマス資源の活用

肉用牛など家畜排せつ物を利用したバイオガス発電の推進

エリア熱供給の推進／エコタウンの推進

ナレッジの蓄積  
農山村型SDGsモデル



農山村型  
まちづくり会社など  
地域づくり支援機能



SDGsを推進するプラットフォーム  
「飯豊町SDGsまちづくり機構」

農村計画の学習  
・アーカイブ拠点



## 農山村の価値の継承

歴史・文化・伝統等のレガシー継承

農村計画研究所2.0

農山村の新たな価値創出と展開



## 人材育成、パートナーシップ構築

多様な主体とのパートナーシップ

人材、組織の育成／運営体制構築

SDGs教育の推進



## 三側面をつなぐ 統合的取組①



## 再生可能エネルギーの戦略的展開

### 町内に豊富に存在するバイオマス資源の活用

- 木質ペレットをはじめとしたペレットストーブ、ペレットボイラーの利用
- 町内の8割を超える森林資源、日本有数の規模を誇る財産区の活用



町有機肥料センター



町木質バイオマス製造施設

### 肉用牛由来バイオガス発電の推進

- ブランド和牛として名高い米沢牛の4割を生産する主産地
- 嫌気性発酵により臭気が低減され、環境に配慮した畜産業のさらなる振興



飯豊町は米沢牛の主産地



バイオガス発電関連事業の推進

### エリア熱供給の推進／エコタウンの推進

- バイオマス燃料を活用した熱エネルギーの公共施設エリア群への一体的な供給
- 厳しい環境性能に適合した住宅の建設を地元工務店が推進し、エコな暮らしの実現



木質バイオマスボイラーイメージ



飯豊型エコ住宅の推進



## 三側面をつなぐ 統合的取組②

### 農山村の価値の継承と創出

#### 農山村のアイデンティティ、レガシーの継承

- 山形の夏祭りを彩る花笠の元となる菅笠や植物を材料とした編み組細工の継承
- 伝統的な地域の祭りや草木塔、田園散居集落景観などの文化的な資産の保全と継承



花笠祭りで使用される菅笠



江戸時代の旧街道の峠道

#### 農村計画、農村計画講座を次のステージへ

- まちづくりの当初から、住民参加型の「手づくりのまちいいで」を推進
- 農山村の多面的な機能を見つめなおし、複雑多様化する課題を克服する地域拠点



初代の農村計画研究所



ワークショップの先進地

#### 新たな農山村の価値創出と展開

- 農村型まちづくり会社など地域づくり支援機能
- 課題先進地からの「真の豊かさ」の発信と自治体再生モデルの普及、展開



昔ながらの暮らしぶりが残る



豊かな里山景観

## 三側面をつなぐ 統合的取組③

### 人材育成、パートナーシップ構築

#### 多様な主体とのパートナーシップ

- 住民と行政のみならず、企業、教育機関、NPO、都市住民など、幅広い主体との連携
- 山村留学などの取組は、町や地域の住民にとって、替え難い絆を生み出している



連携イメージ



山村留学の別れを惜しむ様子

#### 人材、組織の育成／持続的な運営体制構築

- 多様な主体と連携調整する体制を構築し、持続可能な地域づくりを支援する組織の設立
- 個々に実施される企業研修、学生のフィールドワークなど、多様な活動の全体調整機能



大学生のフィールドワーク



台湾などからのインバウンド誘客

#### SDGs教育の推進

- 次代を担う子どもたちへのSDGs教育
- 身近に捉える「自分事化」の推進
- 人口減少と地域力の低下から脱却する自治体SDGsモデルの普及、展開



子どもたちへのSDGs教育の推進



飯豊町／農村型SDGsモデルへ





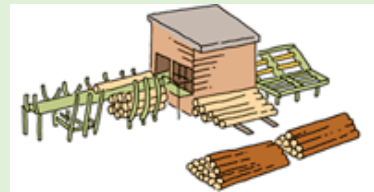
相乗効果①

経済と環境

地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進

原材料となる木質バイオマス資源の活用促進

地域資源の持続的活用による里山景観の保全



- 自立分散型エネルギー確立
- 副次物となる液肥の有効活用
- 肥育をはじめとする畜産業の振興を促し、ブランド牛として名高い米沢牛のさらなる生産振興

- バイオマスエネルギーの自給
- 周辺地域での臭気の低減
- 有機肥料化、耕畜連携の取組補完など循環型農業の推進

家畜排せつ物等をはじめとしたバイオガス発電事業の推進



町有機肥料センター



バイオガス発電プラント



## 相乗効果② 経済と社会

生産の場である農山村空間の多様な価値が顕在化されることで、住民の理解と認識が深まる

農地の保全や有効活用、担い手への支援

- 多様な担い手による協働の進展
- 活力ある地域コミュニティの推進



経済

社会

関連産業の集積や既存企業との連携、イノベーション、コラボレーションに繋がる

都市の住民や企業、研究機関、教育機関など、多様で幅広いバックグラウンドの人材が交流

農山村における新たな価値を創出、提案し、実現するためのプラットフォームを提供する

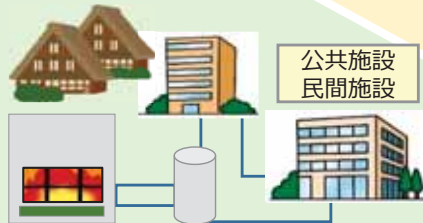


## 相乗効果③ 社会と環境

再生可能エネルギーを活用した熱利用、熱供給プロジェクトの推進

飯豊町らしい省エネ型エコハウスなど、熱エネルギーを利用した環境、健康に配慮した次世代住宅の建築促進

新しいコンセプトの暮らしが飯豊に住むことの新たな価値を体現する。さらには、豊かな地域コミュニティの維持につながる



公共施設  
民間施設

バイオマス熱供給システム



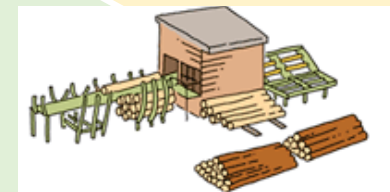
環境

社会

• 生活の場としての豊かな農山村環境と生態系の維持

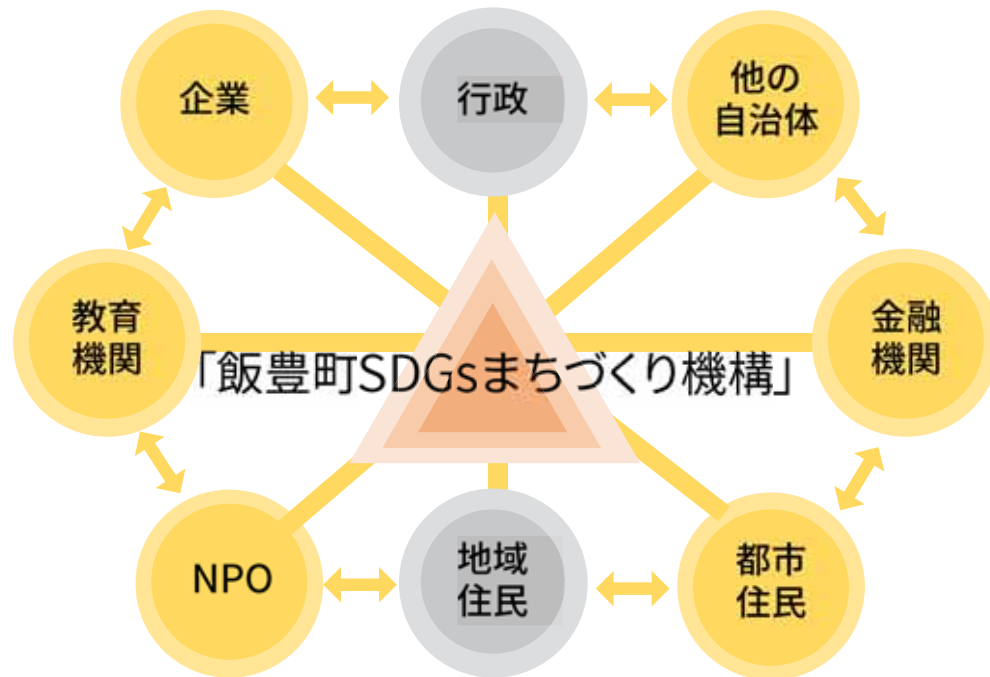
• 自然との調和の取れた農山村らしい空間、景観が保全され、農山村のアメニティ向上

バイオマス資源など、適切な規模の地域資源を活用した再生可能エネルギーの推進



自立的好循環

多様な主体と関係団体の参画 / 類似課題を持つ団体との連携



多様な主体による  
多様の関わり

豊かさの価値指標の  
共有

新たな価値の実践に取り組む企業の活動  
の展開誘致、交流により自立的な好循環へ

「日本で最も美しい村」連合

地域の自立に向けた運動の3つの柱

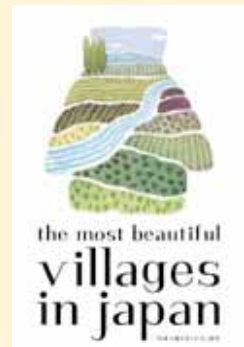
住民の自主的活動 → 経済的自立 → 世襲財産

point1 >>>

SDGsが達成すべき課題と具体的な目標は、美しい村連合の設立目的や運動の取組と内容が極めて親和性が高い

point2 >>>

SDGs以前より、まちづくりの理念として取り組まれてきており、住民の理解等の素地が整っている



2030年も「日本で最も美しい村」でありつづけるために



「変革は辺境から」  
Change from the frontier

